

南北線 9000 系の 8 両編成列車運行開始！

2023年12月16日(土)より運行開始します！

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:山村 明義、以下「東京メトロ」)では、**南北線 9000 系車両1編成で 8 両編成化を実施し、2023 年 12 月 16 日(土)より営業運行を開始します。南北線においては、今後も順次、他編成の 8 両編成化を進めてまいります。**

今回、南北線における輸送力の増強を目的として、既に営業使用されている 9000 系車両に新造車を 2 両増結する工事(8両編成化)を実施し、従来の 6 両編成から 8 両編成へ変更を行いました。8 両編成化によって、定員は 882 人から 1200 人へ輸送力が向上し、混雑緩和が見込まれます。

また、今回の8両編成化においては、1995 年の運行開始から長らく経過している南北線 9000 系車両(6 両編成)の搭載設備を最新車両と同等水準に刷新する大規模改修を併せて実施しました。今回、営業走行を開始する 8 両編成車両では、大地震等の発生により万が一脱線した場合にも自動で列車を停止させる脱線検知装置の搭載、全車両へのフリースペース設置や、車両を動かすための制御装置(VVVF)の性能向上などを行うことで、安全性、利便性、快適性、及び省エネ性の向上を実現します。

今後は、南北線 9000 系車両 13 編成において同様の車両工事を実施することで混雑緩和を図り、お客様にとってより快適な運行を目指します。



南北線 9000 系 8 両編成化及び大規模改修 詳細

1. 対象車両

- 南北線 9000 系 09～21 編成

2. 輸送力の増強

- 新造車 2 両を中間車に増結し、6 両編成から 8 両編成へ変更することにより混雑の緩和を図ります。



新造の増結車(外観)



新造の増結車(内観)

3. 安全・安定性の向上

- 車内のお客様の安全性向上のため、車内セキュリティカメラを搭載します。
- 大震災や災害等の発生により、万が一脱線した場合でも、脱線を検知し、直ちに列車を自動停止させるシステムとして脱線検知装置を搭載します。



車内セキュリティカメラ

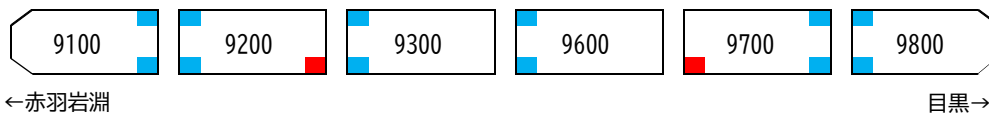
4. 車内快適性の向上

- 車いすやベビーカーをご利用のお客様や大きな手荷物をお持ちのお客様に配慮し、全車両にフリースペースを設置します。

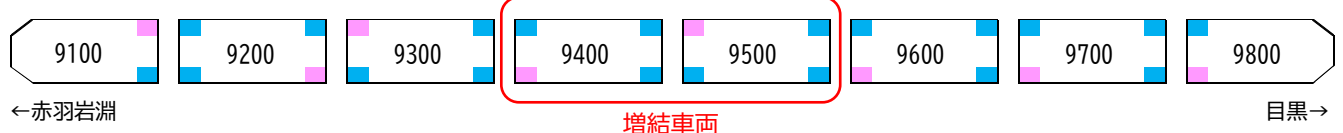


フリースペース(増結車)

[変更前]



[変更後]



増結車両

■ 優先席 ■ 車いすスペース ■ フリースペース

5. 環境負荷低減

- 制御装置(VVVF)はフル SiC(シリコンカーバイド)素子、主電動機は全閉型高効率誘導電動機を採用することにより消費電力量を削減します。
- 電源装置(SIV)では、消費電力が少ない場合に自動的に 2 台のうち 1 台を休止させ、もう 1 台で負荷を負担し高効率の領域で運転する並列同期/休止運転方式を採用することにより、編成全体の消費電力量を削減します。また、低損失化を図った新世代ハイブリッド SiC 素子を適用し、キャリア周波数を高周波化することにより、最新の車両に搭載された電源装置と比較して床面積 40%削減、質量 25%削減を実現し、省スペース化・軽量化を実現します。